

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 30 日 (2009.7.30)

【公開番号】特開 2007-330536 (P2007-330536A)
 【公開日】平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-050
 【出願番号】特願 2006-166312 (P2006-166312)
 【国際特許分類】

A 4 6 B 7/10 (2006.01)

B 6 0 S 3/06 (2006.01)

【F I】

A 4 6 B 7/10 B

B 6 0 S 3/06

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 6 月 12 日 (2009.6.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

洗車ブラシ、ねじりブラシ、洗浄ブラシ、回転ロータ、清掃用ブラシ等の各種ブラシに用いられるブラシ用毛材において、前記ブラシ用毛材は、多数の繊維を配列して積層した略一定の厚みを有する帯板状体が形成されてあると共に、前記帯板状体は前記多数の繊維が該繊維の長手方向側部において接合された溶着部が形成されてあることを特徴とするブラシ用毛材。

【請求項 2】

洗車ブラシ、ねじりブラシ、洗浄ブラシ、回転ロータ、清掃用ブラシ等の各種ブラシに用いられるブラシ用毛材において、前記ブラシ用毛材は、多数の繊維を配列して積層した略一定の厚みを有する帯板状体が形成されており、さらに異材質からなる多数の繊維を配列して積層した略一定の厚みを有する他の帯板状体が上下方向に積層して形成されてあると共に、積層された帯板状体は溶着部により接合されてあることを特徴とするブラシ用毛材。

【請求項 3】

帯板状体の略中央部に前記多数の繊維が接合された溶着部が形成されてあることを特徴とする請求項 1 及び 2 に記載のブラシ用毛材。

【請求項 4】

洗車ブラシ、ねじりブラシ、洗浄ブラシ、回転ロータ、清掃用ブラシ等の各種ブラシに用いられるブラシ用毛材において、前記ブラシ用毛材は、多数の繊維を配列して積層した略一定の厚みを有する帯板状体が形成されており、前記帯板状体は前記多数の繊維が接合された溶着部が形成されており、前記帯板状体とは異材質の多数の繊維を配列して積層した略一定の厚みを有する他の帯板状体が形成されており、前記他の帯板状体は前記帯板状体とは異材質の多数の繊維が接合された溶着部が形成されており、前記帯板状体と前記他の帯板状体が積層されてあることを特徴とするブラシ用毛材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

請求項１の発明は、洗車ブラシ、ねじりブラシ、洗浄ブラシ、回転ロータ、清掃用ブラシ等の各種ブラシに用いられるブラシ用毛材において、前記ブラシ用毛材は、多数の繊維を配列して積層した略一定の厚みを有する帯板状体が形成されてあると共に、前記帯板状体は前記多数の繊維が該繊維の長手方向側部において接合された溶着部が形成されてあることに特徴を有する。上記構成では、溶着部が形成されてあることによって、多数の繊維が一体となるので、帯板状体を維持することができ、一つのユニットとして量産することが可能となる。